

## 聖カタリナ大学大学院 看護学研究科修士論文評価要項

### I 修士論文 審査基準

研究の意義	1. 看護実践の質の向上において研究としての意義（新規性・独自性）があるか。
	2. 問題提起に学術的意味があるか。
研究方法と内容	3. 研究課題に関連する国内外の先行研究を検討し、研究課題が導かれているか。
	4. 研究課題、研究の背景、意義、目的が明確に示されているか。
	5. 研究目的に適した研究方法であるか。
	6. 研究結果には必要なデータが示されているか。
	7. 研究結果をもとに適切な考察がされているか。
	8. 研究結果には学術的な価値があり、社会への貢献が期待できるか。
	9. 今後の課題が明確になっているか。
	10. 論文としての形式が整っており、論旨に一貫性があるか。
	11. 自立して研究活動を行う能力と学識が論文中に示されているか。
	倫理的配慮
13. 著作権を守る配慮ができていないか。	

### II 修士論文評価要領

修士論文は1月上旬に原本1部と審査員用3部を提出する。提出された修士論文を主査、副査が精読し、最終試験を1月末に実施する修士論文発表会の口頭試問により行う。最終試験終了後、主査・副査は、修士論文審査基準に則って審査し、審査基準に達していると判断した場合は、主査が審査結果報告書を作成し大学院研究科委員会に提出する。大学院研究科委員会は、提出された審査報告書に基づき最終試験の結果に合わせて、単位修得状況等修了要件を審議し学位授与の可否を決定する。